

横浜指路教会

～ヴァイオリン・オルガン・クラヴィコードの演奏会～

「オルガンの息 と 弦の響き」

ヴァイオリン

戸田 弥生

フェリス女学院大音楽学部教授

オルガン・クラヴィコード

宮本 とも子

フェリス女学院大学名誉教授

いざ来たれ、異教徒の救い主よ BWV659 /J.S.バッハ

オブリガート・チェンバロとヴァイオリンのためのソナタ6番 BWV1019 /J.S.バッハ

ヴァイオリンとオルガンによる主題と変奏 Op150より /J.G.ラインベルガー

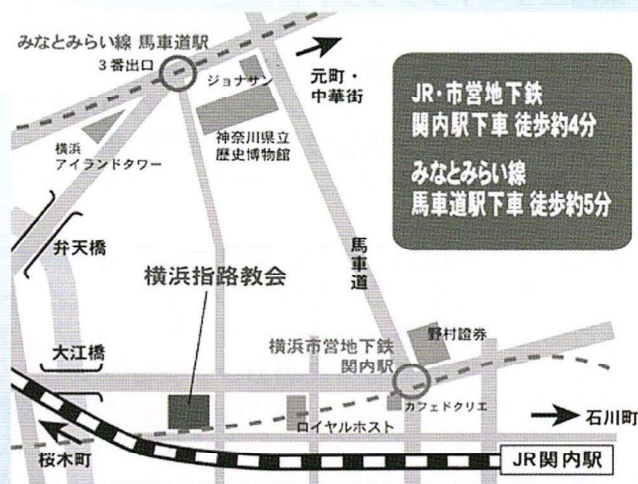
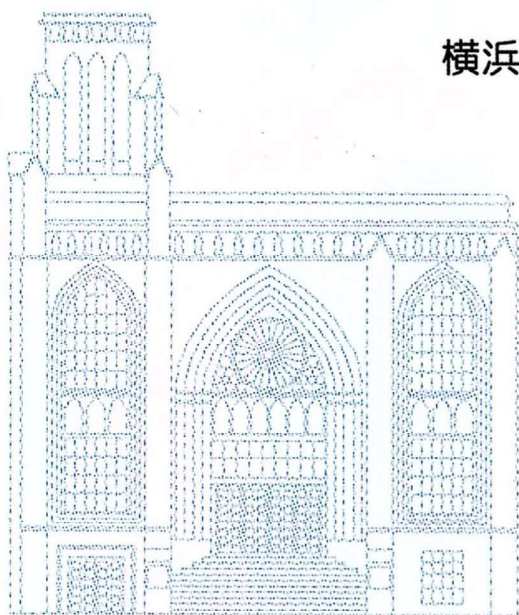
クラヴィコード デモンストレーション C.P.E.バッハの作品など

ヴァイオリンとオルガンのためのソナタ「天におられる私たちの父よ」（初演）/坂本日菜

2018年11月24日（土）午後2時（開場：午後1時30分）

横浜指路教会礼拝堂（スイス／マティス・オルガン）

<入場無料> どなたでもお気軽においでください



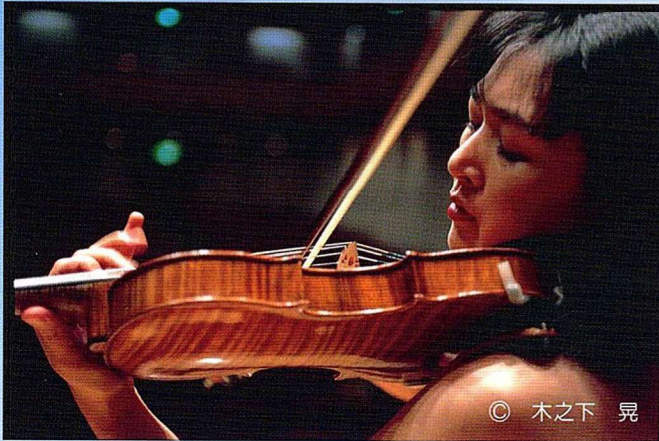
クリスマス礼拝 12月23日(日) 10時30分～
教会学校クリスマス会 12月24日(月・休) 10時～
クリスマス讃美タ礼拝 12月24日(月・休) 第1回 16時～
第2回 18時～
説教 藤掛順一牧師

日本基督教団 横浜指路教会
横浜市中区尾上町6-85
045-681-3804

<http://www.yokohamashiloh.or.jp/>

演奏者プロフィール

戸田 弥生 (ヴァイオリン)



1985年、第54回日本音楽コンクール第1位。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業後、1992年、アムステルダムのスウェーリンク音楽院に留学。1993年、エリーザベト王妃国際音楽コンクール優勝。1994年、第4回出光音楽賞を受賞。これまでに国内外において、小澤征爾、シュロモ・ミンツ、アレキサンダー・シュナイダー、スタニスラフ・ブーニン、ジャン・フルネ、マルタ・アルゲリッチ、アブデル・ラーマン・エル＝バシャ、ジェラルド・コセ、ヴァレリー・アフアナシェフらと共演。

主な録音には『J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 全曲』（単独）音楽之友社 2002、『イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 全曲』（単独）EXTON 2004、『子供の夢：REVE D'ENFANT』（単独）EXTON 2006、『20世紀無伴奏ヴァイオリン作品集』（単独）EXTON 2010、『フランク：ヴァイオリン・ソナタ、シューマン：ヴァイオリン・ソナタ第2番』（Pf）エル＝バシャ EXTON 2014などがある。

現在、フェリス女学院大学音楽学部演奏学科及び同大学院音楽研究科教授。

宮本 とも子 (オルガン・クラヴィコード)

ジュリアード音楽院プレカレッジ、聖心女子大学を経て米国ニューイングランド音楽院及び大学院を優等で卒業。1976年以来、クラヴィコードを手元楽器として、歴史的建造法によるオルガンで演奏活動を行う。

1995年イタリア マニアーノで行われた第2回国際クラヴィコード・シンポジウムでの演奏以来、イタリア、ドイツ、米国でもクラヴィコードのマスタークラスと演奏を行う。

1989年より2017年度までフェリス女学院大学音楽学部でオルガンとクラヴィコードの担当教員を務める。近年の録音には『クラヴィコードの世界～秘められた音楽領域を探る～』浜松市楽器博物館コレクションシリーズ23 LMCD-1902 2010、『バッハの森からの贈りもの～オルゲルビュッフライン～』ALM Records ALCD-1167 2017、『Soli Deo Gloria J.S.バッハ クラヴィア・ユーブング第3部』ALM Records ALCD-1177, 1178 2018がある。



現在、つくば市の「バッハの森」でコラールの背景を学ぶ。日本聖公会北関東教区土浦聖バルナバ教会奏楽者、フェリス女学院大学名誉教授。